



樹木の安全点検

倒木や落枝の危険を発見しよう!

その4 虫害



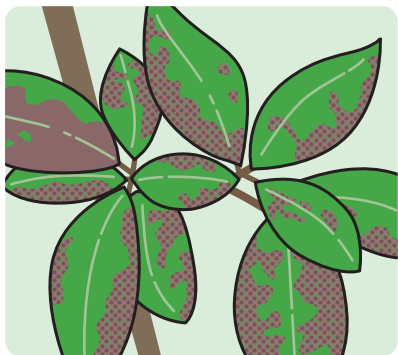
樹木は様々な生き物と共生しており、虫も例外ではありません。“害虫”と呼ばれている虫も少し発生しただけでは樹木にとってほとんど問題はなく、多くの場合、心配する必要はありません。しかし、中には樹木にとって大きな被害を及ぼすものもあります。また、たくさんの虫が一斉に加害して樹木を弱らせたり枯らせたりすることもあります。そのため、**注意すべき状況が見極められるようになることが大切です**。今回は、害虫の種類と特に注意が必要な虫について紹介します。

1 虫の種類

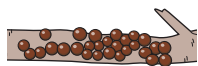
虫自体を見つけるのは難しいので、**被害の痕跡から虫の種類の見当**をつけられるようになります。主な加害の特徴から下記の3種類が挙げられます。

吸汁性害虫

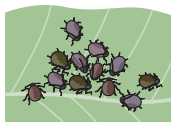
ストロー状の口を葉や枝に刺して樹液を吸う害虫です。カイガラムシやアブラムシの場合は排泄物に糖分が含まれベタベタしているため、葉や枝に付着してカビが発生し、すす病と呼ばれる黒く汚れた見た目になることがあります。



例



カイガラムシ



アブラムシ

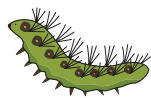
など

食葉性害虫

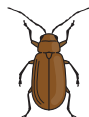
名前の通り葉を食べる害虫です。この害虫によって樹木が枯れることは滅多にありません。ただし、元々別の原因で弱っていたり、何度も葉を食べつくされたりすると枯れてしまうこともあります。また、チャドクガやイラガなど有毒なものには注意しましょう。



例



チョウや蛾の幼虫



ハムシ

など

穿孔性害虫

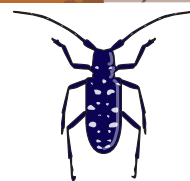
幹や枝の樹皮やその下の材に穴をあける害虫です。被害が大きくなると**幹や枝の折損の原因になることがあるため、注意が必要です**。また、ナラ枯れや松枯れの原因であるカシノナガクイムシやマツノマダラカミキリは甚大な被害を及ぼすことがあるため、特に注意が必要です。



例



カシノナガクイムシ



マツノマダラカミキリ

など

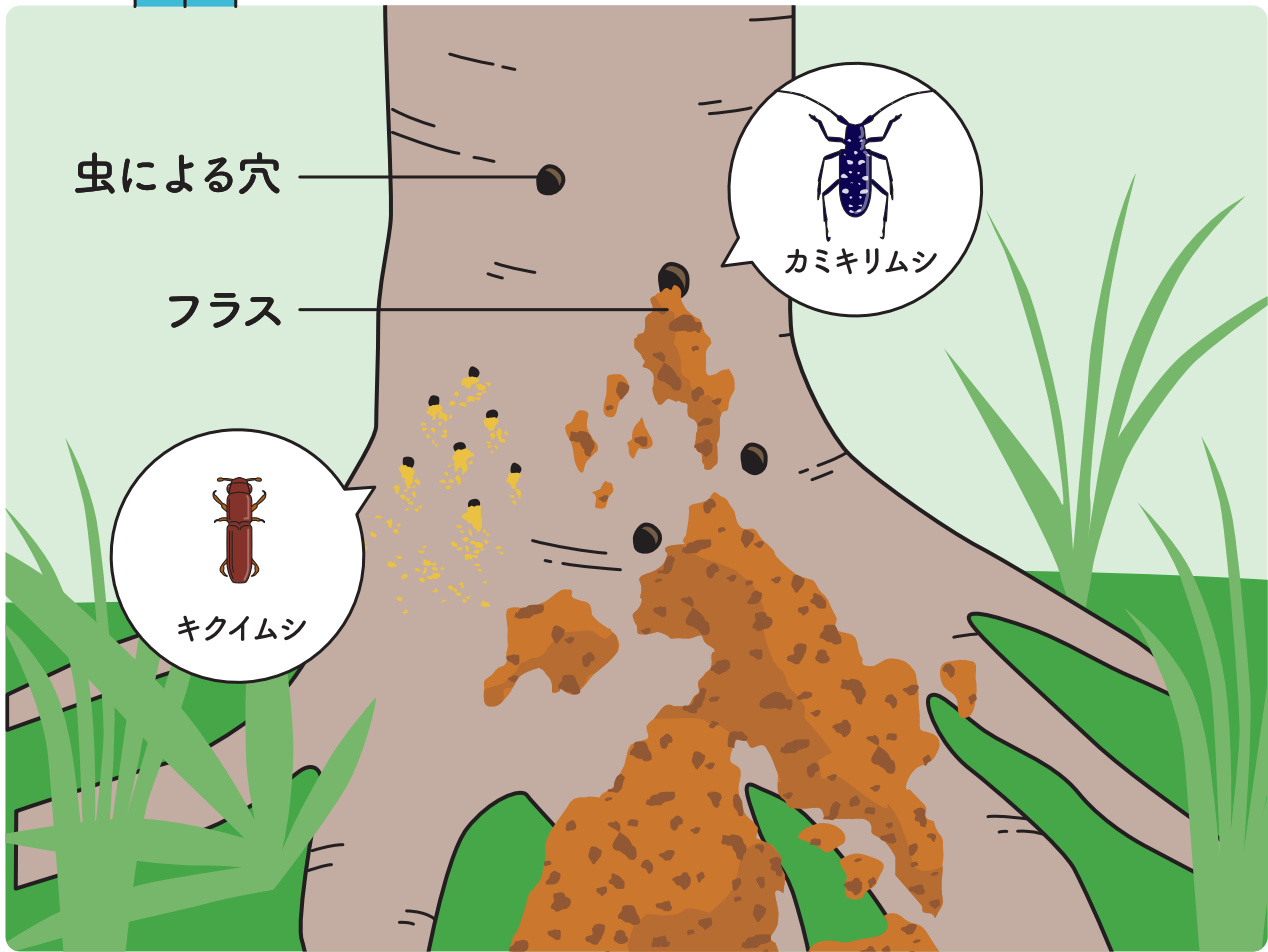
2

穿孔性害虫のを見つけ方 - 穿孔とフラス

穿孔性害虫による被害は、虫があけた穴と“フラス”と呼ばれる糞と木屑が混ざったものが主な目印になります。フラスは穴から排出され、穴の周りや穴の下の根元に溜まっていることがあります。また、穴からは樹液が出ていることもあります。



虫の種類によって穴の位置や大きさ・形、フラスの状態が異なります。



処置の適切な判断が難しい場合は樹木医などの専門家にご相談下さい！



公園・緑地の植栽点検・講習のご依頼は株式会社エコルまで！



発行元 株式会社エコル
東京都港区高輪3-4-1 高輪偕成ビル8階
☎ 03-5791-2901 📠 03-5791-2902

過去の記事も確認できます！

都市樹木研究室の
HPのQRコードは
こちらから

